基本目標3 未来の長門へつなぐ「しくみづくり」

活動目標⑤ [新たな仕組みを開発しよう]

■現状と課題

近年の多様化する福祉課題や福祉ニーズに対しては、従来の制度やサービスでは十分に対応できないことも多くあります。そのためには、変化していく福祉ニーズを的確に把握し、各関係機関や団体との連携のもと、市民が安心して暮らし続けることができる新たな仕組みを開発し対応していくことが大きな課題です。そのために、調査や研究、座談会や研修会を通じ、地域課題を把握するとともに、福祉ニーズの変化に対応できるよう柔軟な発想とアイデアを持ち、常に新しい取組にチャレンジする姿勢を忘れないよう心掛けることが必要です。

■具体的な取組

	现织内容	取組チェック表		
	取組内容		R6年	R8年
取一	●行政や社協等が実施する調査に協力しましょう。			
りん	●隣近所の生活上の課題に目を向けましょう。			
一型に	●座談会や研修会に参加しましょう。			
り組むこと人一人が	●「あったらいいな」を提唱しましょう。			
取地	●自治会で地域の課題について話し合う場を作りましょ			
り組み	う。 ●地域のニーズに応じた活動を実施しましょう。			
り組むこと	●地域のニーズを集約し、新たな活動へ結びつけましょう。			
社	●自治会福祉部や地区社協活動等、地域の方々に向けた 座談会や研修会を開催し、地域課題やニーズの情報収 集に努めます。			
協が	●二ーズ調査、現状調査を必要に応じて実施します。			
社協が取り組むこと	●調査や先進事例の研究に基づき、新たな事業の開発、 活動の企画・実施を行います。			
おこと	●各団体・組織・企業と連携して地域課題を共有し、新 たな事業を展開します。			
	●長門市社会福祉法人地域公益活動推進協議会と協働 し、新しい事業を展開します。			

基本理念 みんなが主役!誰もが安心して暮らせる長門づくり

•	●エンディングサポート事業の取組として、関係機関と 連携し、死後の事務を支援する仕組みについて検討し ます。		,
	●地域生活課題解決に向けて取り組む住民の意識啓発と 地域づくりを行います。(労働者協働組合法を活用)		

■5年後の姿

- ●地域ニーズに応じた新たな事業ができている。
- ●地域生活課題解決に取り組む、労働者協同組合が設立され、活動している。
- ●死後事務委任契約による安心サポート事業が始まっている。

令和4年度~令和8年度の間で新しくできたこと、始まったこと (活動・取組・事業など)を書いてみましょう!

年月	場所・団体	内容

	•	
メモ		
		/